

店舗協議会ニュース ユーコープ労働組合

2015年 9月12日発行

9月1日(火)に2015年度第4回大中小型店合同労使協議会が静岡県本部にて開催され、理事会からは佐藤店舗事業本部長、黒川店舗運営企画課長、耳塚労政課長と労組からは18名が参加しました。

◇労使協議会

1. 経営報告(理事会からの報告)

(1)8月度経営結果

供給高の前年度比では93.7%でしたが、予算比では大型・中型・小型の全てにおいて達成し店舗計で予算比102.6%でした。経常剰余高予算差2684万円、全店舗業態で予算達成ができた。累計では経常剰余△9億9890万円、予算比1億1249万円と前年比共に達成。

月度経常剰余高黒字店舗はしずおか3店舗、かながわ11店舗でした。

(2)経常剰余黒字強化店舗(片倉・白根・末吉・桜つつみ・袋井田町・上今泉)の状況

6店舗中、増収4店舗、増益5店舗。袋井田町店については来店者の引上げと広告宣伝費の抑制と効果的運用が課題。

(3)閉店提起店舗の状況

閉店提起店舗10店舗のうち4店舗は月度黒字となり奮闘をしている。9月度終了後、上期の結果と年末の見込みを立てて10月7日の理事会で判断をする。

労組)三園平店では、有志ボランティアの方が試食のお手伝いをしてくれて、盛り上げてくれている。「店舗の存続をしましょう」の声をささえる会の方が声を掛けてくれている。ある店舗では努力をしているが、修繕費などがかさみ、職員、組合員の志気が下がってしまう。

(4)神大寺店改装状況について

8月6日にオープン。2層式タイプからワンフロアタイプに改装。オープン週で来店者数予算比100.1%、前年比124.2%。供給高は予算比91.5%、前年比142.8%。部門別では精肉とデイリーが苦戦。改装費は什器のフロン問題対応も含み約7000万。10年間解消予定。10月中旬2FにDAISOオープン。

2. 中期経営計画について佐藤常務からの検討状況の経過説明(概要でまだ未確定)

店舗事業の存続、そして確実に実行できる根拠ある計画を検討中。次期の3年間で新店計画はせず、改装を年間大型店1~2店舗、中型店は2~3店舗、小型店は3店舗ずつで検討中。

供給高は現状の650億円から550億円レベルを下限にこれを上回る努力を行う方向。現状の店舗赤字▲25億を次期三カ年で半減させ、その後の3カ年最終年度2021年度に黒字化をめざす。

商品についてはユーコープセレクションを通じ、こだわり、語れる商品を作る。価格帯は主力チェーンの範囲にし、高すぎる、安すぎるものにはしない。11月に職場に一次案を報告予定。

3. 労使課題について

(1)欠員状況について

店長のヒヤリングから店舗全体で7,700h不足(8月28日現在)かながわ約5,000h、しず・やまで2,700h強不足に対して店舗支援・研修・シルバー人材などの応援が約5,400hあるが実質全体で2,100hを超える不足の実態がある。(職員換算で60人、15hパート換算で140人不足)参加者の声をきくと認識のギャップがあり、数字通りには読み取れないと受け止める。またキャリアパートの欠員や今後定年予定者もあり。

対策として、10月21日から本部より13~14名の応援職員の配置をする。また採用改善のために効率のよい募集の仕方や交通手段の条件緩和、紹介料など検討中。

(2)採用困難手当支給状況(9月1日現在)

大豆戸店(50円)・若葉台店・白幡店(30円)は全部門に、東戸塚駅前店(10円)・千代田店(30円)はレジ部門のみ、末吉店・桜台店・H相模大野店・大谷店は30~35円。

3. 職場から

労組)ドンドンポイントは定着をしてくれている。月・木のカードよりも効果があるよう。

月初めの4日間にポイントが出てこなく、組合員から問い合わせがある。理事会)持ち帰り確認をする。



次回は店舗労使協議会・労働安全衛生委員会の日程

日時: 9月30日(水) 13:30~16:30(集合 13:00)

会場: 神奈川本部 日石ビル *労働安全衛生委員会は 13:30~14:30